

2025世界ソフトテニスクラブフェスタ

審判委員会より

1 競技は（公財）日本ソフトテニス連盟「ソフトテニスハンドブック」および大会要項に従って行います。

2 ベンチは各会場とも審判台から見て右側を番号の小さいチームとします。

3 1日目の予選リーグの審判について、男子は本部で空いている2ペアを指定しますので一人ずつ入ってください。正審、副審については話し合ってください。女子は初対戦は本部指定、以降、前のマッチを行っていた2ペアから一人ずつ出して行ってください。原則、勝者が正審、敗者が副審としてください。

2日目の順位トーナメントは、男女とも初対戦は本部指定、以降敗者審判となります。上位トーナメントの準々決勝から大会役員が審判をします。（準々決勝は副審のみ敗者が入ってください。）

4 試合進行が予定通りに進まず、空いている選手に審判をしていただく可能性がありますので、ご協力をお願いします。

5 審判をするにあたり【審判進行の流れ】、【審判時の注意事項】を確認して、適切に任務にあたってください。また、バインダーに参考資料をつけておきますので、参考にしてください。

6 コート主任は置きませんが、各会場に審判委員を数名配置します。困ったことがあったら審判委員を呼んでください。

7 選手は見ている人に感動を与えられるようフェアプレーを心がけてください。

8 監督や応援している人は、選手を尊重しながら、選手が前向きにプレーができるような声かけをしてください。

【試合進行の流れ】

- 1 進行表を確認し、前のマッチが終わったらコートに整列してください。
- 2 審判の指示に従い、マッチ前のあいさつ、トスを行ってください。台湾ペアと試合をする場合はコイントスにより、サービス、レシーブ、サイドを決定してください。コインは台湾ペアが持っています。
- 3 あいさつをしてマッチを始めてください。
- 4 マッチが終わったら、終了のあいさつをしてください。
- 5 採点票を確認し、勝者はサインをして、採点票を各会場の本部へ持ってきてください。また、次の対戦の採点票を対戦していたコートに届けてください。
- 6 対戦が終了したら、進行表を見て、次の試合や審判の確認をしてください。

【審判進行の流れ】

- 1 あいさつ・トスの流れは以下のようになります。
 - (1) 正審・副審は所定の位置 (ネットを挟んでサイドラインの外側) に並び、各ペアがサービスライン外側に整列したらネットのそばに集合させる。「集合」 (コールとともに手でも合図し、正審・副審はサービスコートの中央、選手と1.5m位の位置まで進む)
 - (2) あいさつ
「ただ今から〇〇 (チーム名) 〇〇・ 〇〇ペア対□□ (チーム名) □□・ □□ペアの試合を始めます。礼。」
※プレーヤー同士、その後正審・副審とあいさつを交わす。
 - (3) 「トスをしてください。」
※副審が行い、正審が採点票に記録する。
※正審は採点票にトスの結果を記入。
※サイドの選択権のあるチームに○をつけるのを忘れないこと。

※ラケットを回すとき、自分のコートで回せばよい。また、下にラケットを置かせない。

※台湾の選手とマッチを行う場合はコイントスにより選択権を決める。

(4) 「マッチ前の練習を行ってください」と伝え、マッチの準備をする。

※サイドを変える場合はここで変える。

※正審は審判台に座る。副審は選手に使用球を渡し、審判台の反対のネットポスト外側約 60 cm の位置に立つ。

(5) 正審、副審は練習開始から 45 秒を計り、時間になったら正審は「レディ」のコールをする。副審も 45 秒図り、時間になったら手をあげて正審に練習終了の合図を送る。

※ベンチに戻ったり、なかなかマッチを開始しなかったら正審は「レッツプレー」をかける。

(6) 「サービスサイド〇〇 (チーム名) 〇〇・ 〇〇ペア、レシーブサイド□□ (チーム名) □□・ □□ペア、セブン (ファイブ) ゲームマッチ、プレーボール」とコールしマッチを始める。

2 マッチ終了時は以下の手順で試合を終わらせてください。

(1) マッチ終了

「ゲームセット」とコールし、正審は直ちに審判台を降りる。あいさつを済ませてから採点票を完成させる。副審は使用球を回収し、選手・アンパイヤーともネットのそばに集合する。

(2) 「4 (3) 対〇で〇〇・ 〇〇ペアの勝ちです。礼。」

※採点票を完成させる。

※採点票に勝者にサインをもらう。

※採点票を渡し、本部へ持っていくよう伝える。

(3) 「荷物を持って退場し、次の対戦の準備をしてください。」

【審判時の注意事項】

1 正審は姿勢を正しくし、足を組んだり前かがみになったりしないようにしましょう。

2 正審のコールは大きな声で的確に、正しい表現で行いましょう。

※間違いやすい例

○アウト → ×バックアウト

○レッツプレー → ×タイムズアップ

○ネットタッチ → ×タッチネット

○ネットオーバー → ×オーバーネット

○デュース → ×スリーオール (シックスオール) デュース

○デュースアゲン → ×アゲイン

○ゲームカウントスリーオールファイナルゲーム → ×ファイナル

○ゲームセット → ×ゲームオーバー など

3 副審は敏速かつ的確に動き、サービスの判定時以外はネットポストの後ろ約 60 c m の定位置に直立し、しっかり判定しましょう。

4 正審、副審それぞれの判定区分を侵さず、連携を密にして判定しましょう。

※ベースラインのアウト判定は正審です。副審はサインしないようにしましょう。

※サービスセンターラインのフォールトの判定は正審です。副審が判断してサインしないようにしましょう。

※サービスが正しくコートに入った場合、副審はインのサインは出しません。出すとプレーヤーがフォールトと勘違いしてしまうので気をつけましょう。

5 インプレーを停止するサイン又はコールを副審が誤ってした場合は、正審は直ちにプレーを中断させるコールを行いましょう。

①副審が判定区分を侵した場合は「タイム」。

②副審が間違った判定をした場合、正審は「タイム」をコールして、副審のサイン又はコールがプレーに支障を与えたと判断した場合はノーカウント (レシーブを終わる前はレット) とし、プレーに支障がなかったと判断した場合は、判

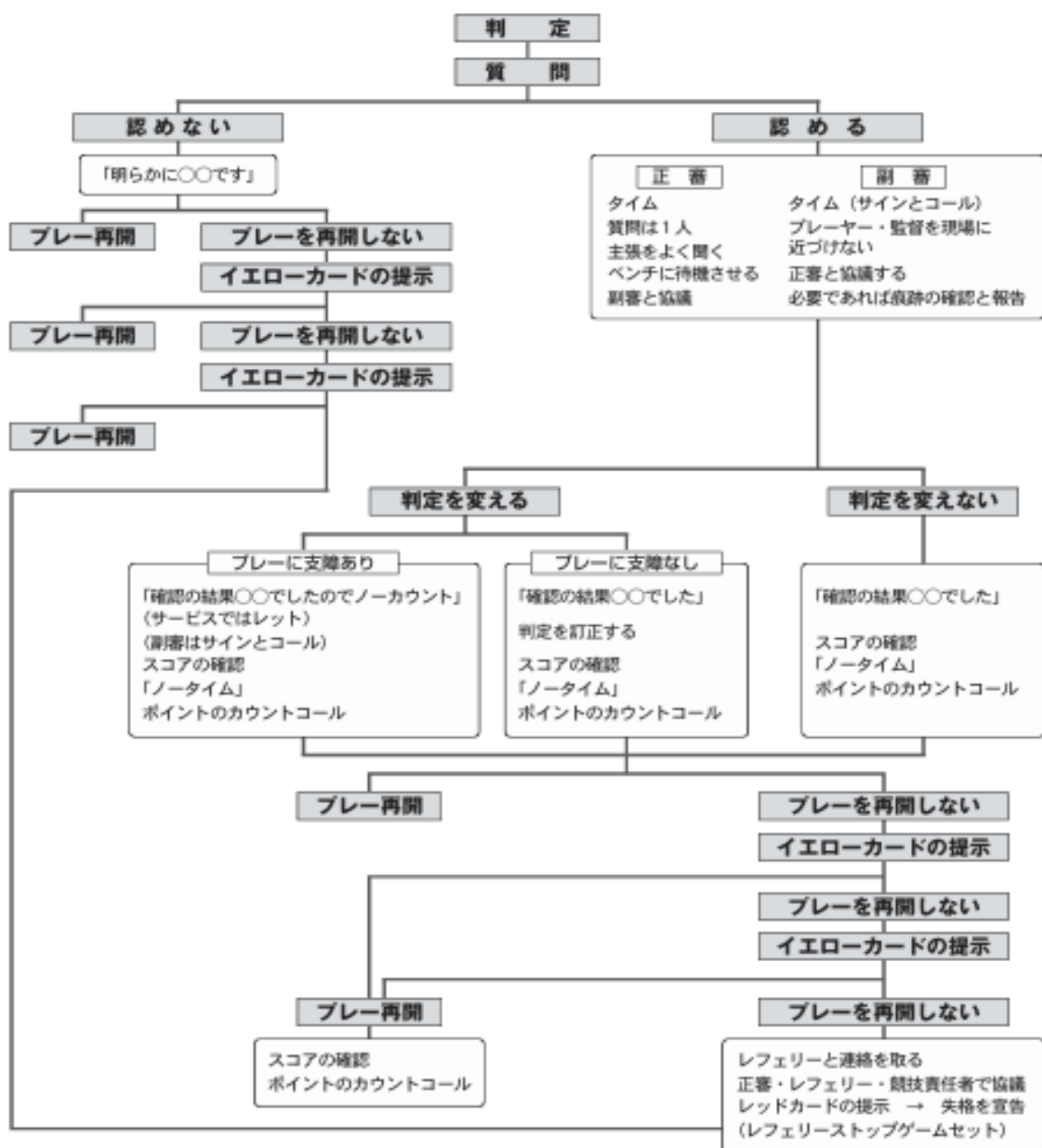
定の訂正を行い通告しましょう。再開時は「ノータイム」とコールし、続けてポイントをコールしましょう。

6 アンパイヤーはマッチ中の判定等についてプレーヤーから質問があった場合は、内容を確認の上、再度判定の結果を正審から通告してください。以後、当該通告に関するプレーヤー（監督を含む）からの問い合わせは異議とみなしてください。

※質問に対して判定に自信があるときは、対応せず即時再判定で構いません。

※ボールの落下点を確認する場合はアンパイヤー自身が行い、プレーヤー等を落下点に近寄らせないでください。

※判定を誤ってしまったのであれば、勇気を持って判定を訂正しましょう。



【全体を通して】

1 ジュニア審判マニュアルをよく読んでおきましょう。

※日本ソフトテニス連盟のホームページからダウンロードできます。

2 エアポンプは各会場の本部にありますので、調整が必要な場合は両ペアで確認してから 持ってきてください。

3 各会場に審判委員がいますので、困ったケースが起きたら直ちに相談してください。

4 イエローカードを提示するような場面をつくらないようにしましょう。

5 アンパイヤーもフェアプレーを心がけ、大会成功にご協力ください。